

セキュリティ対策の人員不足も、
セキュリティ対策に大きなコストをかけられなくても、
これ1台で全て解決。



外形寸法(mm):約116(W)×25(H)×91(D) 質量:約135g

ハイブリットセキュリティ UTM PICO-UTM 100 S

- 1 らくらく設置!かんたん管理!** つないだ瞬間からすぐ働いて守るプラグアンドプレイ。簡単に設置・設定できます。操作・脅威ログ確認も簡単で、管理者不要。
- 2 業界最速クラスの処理速度** 脅威に対する処理速度:スループット 700Mbpsで通信スピードが落ちません。
- 3 特許DPIエンジン搭載で検知率99%** シスコシステムズ、Google、NEC等、大手企業に技術供与しているLIONIC社の特許DPIエンジン搭載で検知率が99%と非常に高いUTMです
- 4 常に最新のセキュリティ** 自動的に本体のウイルス定義ファイルをアップデートし最新の状態を保ちます。またクラウド連携のスキャンに使用するデータは常時更新されますので常に優れたセキュリティ機能を提供します。
- 5 コンパクトでも非常に強力な機能搭載** アンチウイルス、マルウェアサイト防止、不正侵入防止をはじめ、複数の強力なセキュリティ機能を手のひらサイズにまとめたUTMは軽量でどこにでも設置可能!
- 6 低コストだがLAN全体を防御できるUTM** PCやタブレットなどはもちろん、監視カメラなどのIoT機器も含んだ、ネットワーク全体を1台で守ります。端末ごとの対策と比べ、導入や運用コストを抑えられます。

外部 / 内部 からの様々な脅威をブロックし正常な通信のみを通過させます。

外部からの脅威

ネットワーク攻撃
不正アクセス
ウイルスメール
脆弱性を悪用した攻撃



PICO-UTM 100 S



内部からの漏洩

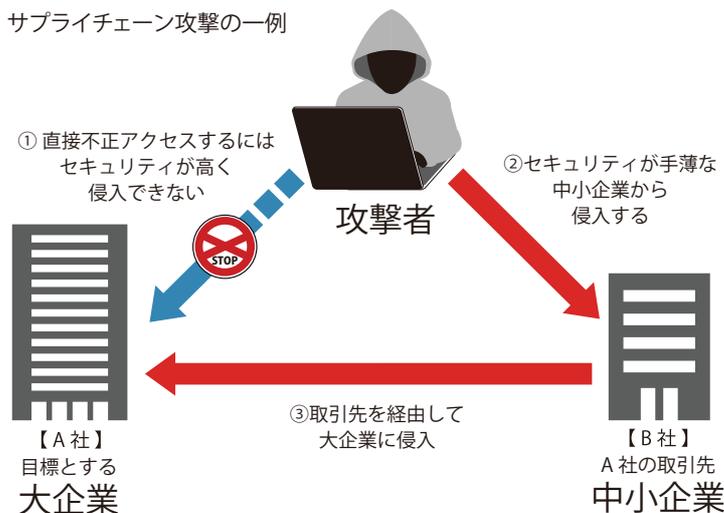
情報漏洩
ウイルス拡散
不正なWEB閲覧

正常な通信のみ通過

世界的に増加するサプライチェーン攻撃

堅牢なセキュリティ環境を持つ大企業へ攻撃する際に、まず比較的セキュリティ環境が脆弱な傾向にある子会社や関連企業に攻撃し、そこから本命である大企業へと攻撃する手法を「サプライチェーン攻撃」といいます。

サプライチェーン攻撃の一例



サプライチェーンとは商品やサービスが消費者や企業に届くまでの一連の流れを指します。複数の企業からなる物流システムのためセキュリティ対策のレベルは企業ごとに様々です。

攻撃者は左図のように、セキュリティが手薄な取引先の中小企業に侵入し、盗んだ情報を使い目標とする大企業を攻撃します。踏み台にされたB社は情報を盗まれていることに気づかずA社で大きな被害が出てはじめて感染が発覚します

経済産業省とIPAは公開した「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」の中で「自社のみならず、系列企業やサプライチェーンのビジネスパートナー等を含めたセキュリティ対策が必要」と記し対策を促しています。



サプライチェーン全体を考えたセキュリティ対策が必要

■ サプライチェーン攻撃の国内事例

2022年3月



トヨタ自動車の部品をつくるサプライチェーン企業がサイバー攻撃を受け、部品供給を管理するシステムがダウンしたことにより、トヨタ自動車は2022年3月1日に国内全工場(14工場28ライン)の稼働を停止しました。サプライチェーン企業の本社ではなく、子会社のリモート接続機器の脆弱性を突かれ、ネットワークに侵入されたのが原因です。パソコンやサーバーに攻撃被害があり、データが暗号化され、システムが停止しました。そしてサプライチェーン企業としての機能：部品が出荷できなくなり、トヨタ自動車という世界最大の製造業のサプライチェーンが生産停止しました。

2022年10月



ランサムウェアとみられるサイバー攻撃でシステム障害が起き、大阪急性期・総合医療センター(病床数800超え)の医療サービスが約2ヶ月も停止しました。電子カルテのデータが暗号化されただけでなく、病院システム全体に影響があり2023年3月になりやっと復旧できました。サプライチェーン攻撃事例として、復旧までにかかなりの時間のかかったケースでした。給食を委託する給食サプライチェーン企業経由で病院システムに侵入されたのが原因でした。このケースも給食サプライチェーン企業のリモート接続機器の脆弱性を突かれ、ネットワークに侵入された事例と考えられます。

■ 世界有数のアンチウイルス技術を蓄積したトップ企業LIONIC社製



■ LIONIC社はGoogle/NEC/シスコシステムズに技術供与



■ 設定・管理が簡単なので、ヒューマンエラーが起こりにくい!



▶ 詳細動画はコチラ



※1, Google はGoogle LLCの登録商標です。※2, NEC は日本電気株式会社の登録商標です。※3, CISCOはCisco Systems, Inc.の登録商標です。※掲載のイラスト・写真は全てイメージで実際とは異なります。

製造元 **LIONIC**
Security Solution Provider
総販売元 **株式会社 ビープラス**
東京本社 〒105-0003 東京都港区西新橋 2-33-4 9F
大阪本部 〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 3-12-15

相談窓口

☎ 03-6256-8870
✉ utm@be-plus.co.jp
🌐 www.be-plus.co.jp

WEBサイト



取扱代理店

ITプロダクツ株式会社
営業本部 登 貴久

電話番号：044-578-2080 FAX 番号：044-578-2090
携帯番号：080-7363-4222